

再使用禁止

販売名 ピアチュアレ(piacere)

取扱説明書を必ず参照する

【警告】

- 1.本製品は滅菌品のため、開封済みの未使用品や包装が破損又は傷が付いているようであれば使用しないこと。
- 2.誤った使用をすると血液を介して感染の恐れがあるため注意すること。

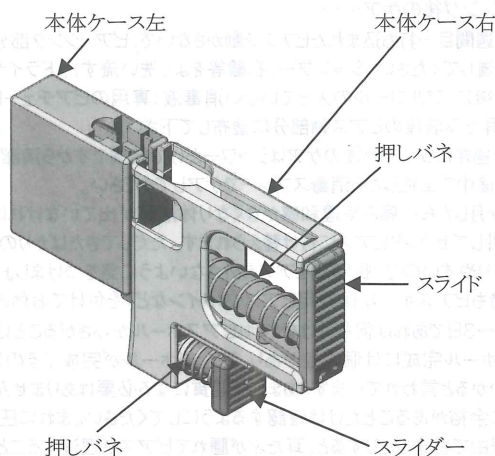
【禁忌・禁止】

- 1.再使用禁止。使用後は破棄し、再滅菌したり再使用したりしないこと。
- 2.本書の【使用目的又は効果】に記載された適用以外の用途への適用禁止。

【形状・構造及び原理等】

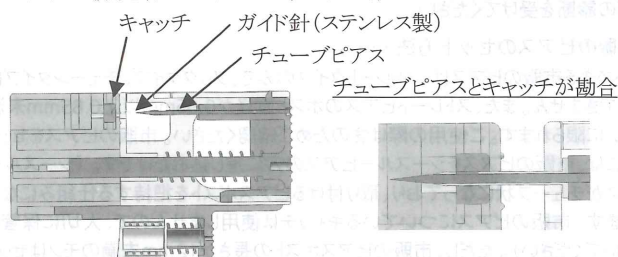
①形状

(外観図)

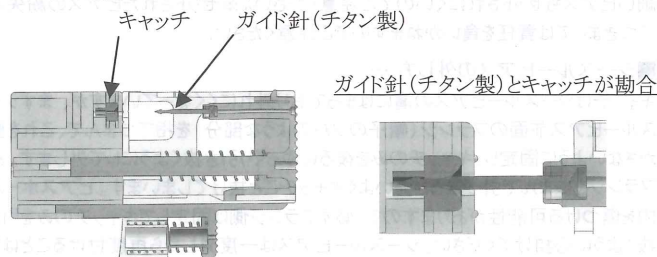


②構造(断面図)

Aタイプ(販売名:ピアチュアレ、ぶりぴあ)



Bタイプ(販売名:ティピア)



③原材料

ガイド針	Aタイプ:ステンレス、Bタイプ:チタン
押しパネ	パネ用ステンレス鋼
チューブピアス	ポリメチルペンテン
キャッチ	スチレン系熱可塑性エラストマー
本体ケース左・右	ABS樹脂(Aタイプ) PS樹脂(A, Bタイプ)
スライダー	ABS樹脂(Aタイプ) PS樹脂(A, Bタイプ)
スライダー	ABS樹脂(Aタイプ) PS樹脂(A, Bタイプ)

④原理

スライダーにより本体ケース左・右を開閉させ耳たぶを固定しスライダーによって針で刺通させる。

【使用目的又は効果】

装身具ピアス装着用の孔を形成する穿孔器である。

【使用方法等】*

- ①使用前にキャッチが正しい位置にあるか確認し、上の方にずれていたら下まで押し込む。
- ②スライダーを押し込み本体ケース左右を開き、開口部に耳たぶを挿入し穿孔位置を決め押し込む力を緩めると耳たぶが固定される。
- ③この状態でスライダーを最後まで押し込むと、Aタイプはガイド針(ステンレス製)とチューブピアスが耳たぶを貫通しキャッチに吻合、Bタイプはガイド針(チタン製)が耳たぶを貫通し、キャッチと吻合する。
- ④次に押し込む力を緩めスライダーが初期位置に戻るとAタイプはチューブピアスとキャッチが留置されガイド針(ステンレス製)は本体に戻り、Bタイプはガイド針(チタン製)とキャッチが耳に留置され装着が完了すると同時に二度打ち防止ロックがかかり再使用できなくなる。
- ⑤最後に、再度スライダーを押し込み本体ケース左右を開き、ゆっくり下げて本体を耳から外す。

【使用上の注意】*

- ①本製品はEOG滅菌されており、開封後はすぐに使用すること。
- ②スライダーは試し打ち等で途中で押し込むとロックがかかり二度打ちできないので、試し打ちは絶対にしないこと。
- ③キャッチとチューブピアスおよびガイド針(チタン製)が本体に正しくセットされているか確認すること。
- ④本製品が収納されているトレー容器の破損、汚れ及び密封不完全なものは滅菌の信頼性に欠けるため使用しないこと。
- ⑤使用後、チューブピアスおよびガイド針(チタン製)とキャッチに耳たぶが圧迫されまったく余裕がない場合はチューブピアスおよびガイド針(チタン製)が埋没する可能性があるため直ちに抜去すること。
- ⑥使用後、穿孔部に多量の出血或いは内出血や、異常な痛みがあった場合は直ちにチューブピアスおよびガイド針(チタン製)を抜去し、局部を観察のうえ、適切な処置をすること。
- ⑦健康状態の悪い方、皮膚に異常がある方、出血しやすく血の止まりにくい方、妊娠中の方、耳たぶの厚さがAタイプ使用の場合は6mm以上、Bタイプ使用の場合は8mm以上ある方には使用しないこと。
- ⑧耳たぶ以外の箇所や耳の軟骨部分は炎症を起こす可能性があるため使用しないこと。
- ⑨Bタイプのガイド針(チタン製)は低アレルギー性ですが稀に腫れ、発赤、かゆみや出血などの症状があらわれることがあります。その際には局部を観察のうえ適切な処置をすること。

【保管方法及び有効期間等】

- ①室温下で水濡れに注意し、直射日光、オゾンおよび高温多湿を避けて保管すること。
- ②適正な保管方法が保たれていた場合、本製品の有効期限は3年で、容器裏蓋の記載事項を参照すること。

【包装】

1個/箱

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:ダイアデム工業株式会社

住所:茨城県常陸大宮市姥賀町582-7

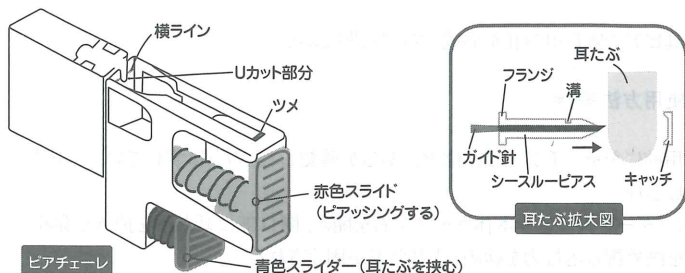
発売元:株式会社ワンダーワークス

住所:東京都北区滝野川5-5-5 電話番号:0120-14-2933

ピアチェーレ取扱説明書

piacere
ピアチェーレ
(片耳用)

ピアチェーレは医師が使用する滅菌済の1回限り使い捨てタイプの医療用穿孔器（ピアス穴開け器）です。誤った使用をすると血液を介して感染の恐れがありますのでご注意ください。ご使用前に医師にご相談ください。



ピアッシングの方法

- ① 耳たぶを消毒して清浄にし、スキンマーカーパーン等でピアッシングする位置に印をつけます。
- ② ブリスターパックからピアチェーレ本体を取り出します。
- ③ 青色スライダーを押し本体を開いて、耳たぶを挟みピアッシング位置を合わせます。

ポイント!

本体のUカット部分に横ラインがありますので、そのラインの中心に位置を合わせるようにしてください。

注) 青色スライダーを押し本体を開かない限り赤色スライドは押せません!

- ④ 赤色スライドを押し込み、ピアッシングします。

警告 [押し込み不足に注意]

ピアッシング時に赤色スライドを押し切れなくなるまでしっかり最後まで強く押し込んでください。押し込み不足が発生するとシースルーピアスがキャッチにセットされません。

ポイント!

スライドを押し込む瞬間は本体に余計な力をかけずにまっすぐ押し込んでください(上下左右に本体を動かさない)。

- ⑤ 赤色スライドを最後まで押し切ると、シースルーピアスがキャッチにセットされます(赤色スライドを押し込む際に音がしますが動作に異常ありません)。

ポイント!

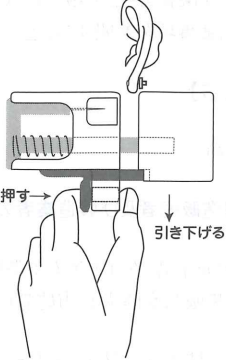
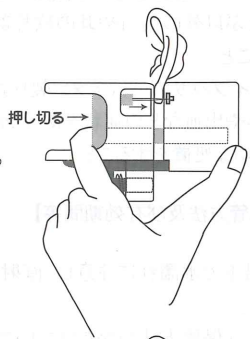
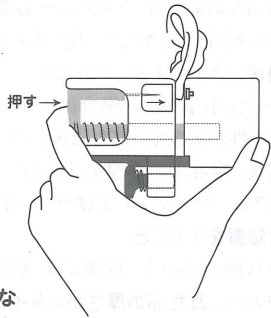
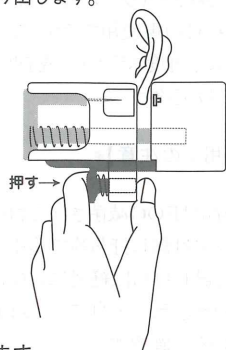
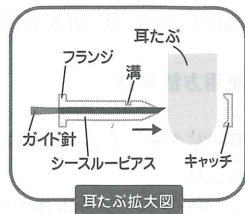
押し込み不足に注意し赤色スライドを押し切れなくなるまでしっかり最後まで押し込んでください。

- ⑥ 押し込んだ力をゆるめ赤色スライドが元の位置に戻ったら、青色スライダーを押し本体を開いて、耳を押さえながらゆっくりと本体を下に引いて耳たぶから外せばピアッシング完了です。

ポイント!

本体と耳たぶが密着して外れにくい場合は、あわてずに耳たぶを押さえ、本体を開いた状態で前後に軽く動かして下に引いてください。

注) 一度赤色スライドを最後まで押し込むとロックがかかり二度打ちできません!



■トラブルシューティング……

※ごくまれに、下記のようなトラブルが生じる場合があります。状況を確認のうえ、対応してください。

- ① キャッチが所定の位置にセットされない
スライドの押し込みが不足すると、シースルーピアスがキャッチにセットされなかったり、所定の位置に止まらなかったりする場合があります。この場合は、マチ針をシースルーピアスの前面から差し込み、針の先端で皮膚を刺さないように注意して、キャッチをシースルーピアスの溝がある位置まで押し込んでください。
- ② シースルーピアスとキャッチに耳たぶが圧迫されている
ピアッシング後、耳たぶが腫れて圧迫されると、シースルーピアスとキャッチが耳たぶに埋没する可能性がありますので、セットされたシースルーピアスを外してください。
- ③ ピアッシング後、本体が耳たぶから外れない
シースルーピアスとキャッチの適合具合により、ごくまれに赤色スライドが元の位置に戻らず、本体が耳たぶから外れない場合があります。この場合はあわてずに赤色スライド上部のツメを元の位置に押し戻し、[ピアッシングの方法]の⑥のように外してください。

■ピアッシング後のケア……

◎初日～1週間目…打ち込まれたピアスを動かさず、ピアッシング部分をシャワーでよく洗い流してください(シャンプー、石鹸等をよく洗い流す)。ドライヤーの冷風で乾かした後に、アルコールの入っていない消毒液(専用のピアチェーレ消毒スプレー等)を耳たぶ前後のピアス軸部分に塗布して下さい。

◎1週間を過ぎたら…その後のケアはシャワーだけで結構ですから清潔に保つように心掛け、途中で出血したら消毒スプレーでケアしてください。

◎1～1.5ヶ月したら…痛みや違和感がなくなり体液等が出ていなければ、ファーストピアスを外してセカンドピアスに付け替えられます。ただしできたばかりのピアスホールはふさがりやすいので、長時間ピアスを外さないように気をつけましょう。2ヶ月ほどは就寝時もピアスホール保持用ピアス(リメインなど)を付けてお休みください。その後は2～3日であれば何も付けなくてもピアスホールがふさがることはありませんが、ピアスホール完成には個人差があり、完全にホールが完成するのに最低でも半年ほどかかると言われています。あまり神経質になる必要はありませんが、ピアスと耳たぶに余裕があることだけは確認するようにしてください。まれに圧迫されたり、何らかの理由で感染したりすると、耳たぶが腫れてピアスが埋没することがあります。もしもこのような状態になってしまったら、すぐにピアスを外してピアスホールをふさいでください。※ケア期間中にピアスに触っても強い痛みを感じなくなったら、時々ピアスを前後に動かしたり、回したりしてください。※耳たぶに異常を感じたら直ちに医師の診断を受けてください。

■市販のピアスのセット方法……

セットできる市販のピアスは、ストレートタイプのみで、フックタイプ、チェーンタイプは使用できません。また、ストレートピアスのポスト直径が0.65mm以上0.85mm未満のモノに限られます。ご使用の際は念のためご確認ください。市販のピアスをセットするには、市販のピアスをシースルーピアスの穴に差し込むだけです。(シースルーピアスがチューブ状になっており、取り付けるピアスポストを把持する仕組みになっています。市販のピアスについているキャッチは使用しませんので、大切に保管しておいてください)。ただし、市販のピアスポストの長さが12mm未満のモノはセットされませんので、12mm以上のポストが長いピアスをご使用ください。また、ポストの細いピアスもセットされにくいのでご注意ください。※セットされたピアスの紛失等につきましては責任を負いかねますのでご注意ください。

■シースルーピアスの外し方……

キャッチはシースルーピアスの溝にはまっており外れにくくなっていますが、まずシースルーピアス前面のフランジ(帽子のツバのような部分)を指でつまんで、これを動かさないように固定し、キャッチのみを後ろにゆっくり引き抜くようにして外します。※フランジをつまんで引っ張ると勢いよくキャッチごと抜けてしまいます。ピアスホール内を傷つける可能性がありますので、必ずフランジ側は固定してキャッチのみを引き抜くように心掛けてください。シースルーピアスは一度外したら再度付けることはできません。

■クリニック紹介サービス……

ピアッシングしていただけるクリニックのご紹介サービスをしています。詳しくはフリーダイヤル(0120-14-2933)までお電話ください。(受付時間:10:00～12:00/13:00～17:00 ※土日祝祭日を除く ※携帯電話からはつながりません)

■インターネットクリニック……

ピアッシングに関するご相談はホームページをご利用ください。
<https://pia.wonderworks.co.jp> 専門医が無料でアドバイスします。
(お問い合わせの際は商品をお手元にご用意ください。)

総監修: 井上建夫先生/医療法人社団慶湘会理事長(略歴) 慶應義塾大学医学部卒業、同形成外科入局、埼玉医大総合医療センター助教授、東邦大学医療センター大橋病院形成外科教授を経て現在に至る。日本形成外科学会認定専門医。